

# 卒業時アンケートについて（ご報告）

IR室

卒業時調査として、平成30年度薬学部卒業者を対象に、本学の教育満足度、教育全体を通じて身についた能力、本学の施設・設備の満足度、学生生活の経験、実社会において必要と考える能力、今後本学の教育や学生支援に期待すること、生涯学習に関して本学に期待すること等についてアンケートを実施しました（平成31年2月に教務課が実施）。

なお、対象卒業者は、主として平成24年度改訂カリキュラムを受けた者となります。

## 【結果概要（別紙集計データ参照）】

### <全体>

- ・対象は平成30年度卒業生327名（9月卒業、薬科学科卒業者を含む）であり、回答数が270名（約83%）となった。
- ・就職内定先を聞いたが、国家試験不合格により内定辞退が発生するため、実際の就職先とは異なる内容となっている（実際の就職先等はキャリアサポート課が調査し、HPに掲載している）。本調査に影響がないため、今後は設問から除く。

### <問2：本学の教育満足度>

- ・カリキュラム・ポリシーに準じて、(1)基礎教育・ヒューマニズム教育科目、(2)語学教育科目、(3)薬学専門教育科目、(4)医療薬学教育科目、(5)実務実習、(6)卒業研究の区分で調査した。
- ・全ての区分において「どちらかと言えば満足」が50%超、又は約50%となっている。
- ・(3)～(6)については「満足」の割合が25%を超えているが、(1)・(2)については20%に届かず、「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合が計30%を超え高い。
- ・回答区分に配点した比較

「満足」・・・2点、「どちらかと言えば満足」・・・1点、

「どちらかと言えば不満足」・・・1点、「不満足」・・・2点 として算定

※他の調査で使用するため、合計点を回答数で割った点数を算定しておく。0.8点以上を赤で記載。

(6) 卒業研究	264点	0.98点
(5) 実務実習	250点	0.93点
(3) 薬学専門教育科目	247点	0.91点
(4) 医療薬学教育科目	243点	0.90点
(1) 基礎教育・ヒューマニズム教育科目	131点	0.49点
(2) 語学教育科目	65点	0.24点

### <問3：本学の教育を通じて身についた能力>

- ・ディプロマ・ポリシーに準じて、(1)薬剤師としての心構え、(2)患者・生活者本位の視点、(3)コミュニケーション能力、(4)チーム医療への参画、(5)基礎的な科学力、(6)薬物治療における実践的能力、(7)地域の保健・医療における実践的能力、(8)研究能力、(9)自己研鑽、(10)教育・指導能力、(11)文章表現力・数的処理能力、(12)国際感覚・異文化理解の区分で調査した。
- ・(1)～(11)の区分において「どちらかと言えば身についた」が50%を超えているが、(12)については40%となっている。

- ・(1)・(2)については「身についた」の割合が25%を超えているが、(10)～(12)については15%以下であり、特に(12)については「身についていない」の割合が17%と他に比べて高い。また、(7)・(10)～(12)の「どちらかと言えば身についていない」「身についていない」の割合が計30%を超え高い。

・回答区分に配点した比較

「身についた」・・・2点、「どちらかと言えば身についた」・・・1点、

「どちらかと言えば身についていない」・・・-1点、「身についていない」・・・-2点 として算定

※他の調査で使用するため、合計点を回答数で割った点数を算定しておく。0.8点以上を赤で記載。

(1) 薬剤師としての心構え	272点	1.01点
(2) 患者・生活者本位の視点	249点	0.92点
(9) 自己研鑽	223点	0.83点
(5) 基礎的な科学力	213点	0.79点
(4) チーム医療への参画	204点	0.76点
(8) 研究能力	194点	0.72点
(3) コミュニケーション能力	187点	0.69点
(6) 薬物治療における実践的能力	160点	0.59点
(7) 地域の保健・医療における実践的能力	150点	0.56点
(10) 教育・指導能力	125点	0.46点
(11) 文章表現力・数的処理能力	115点	0.43点
(12) 国際感覚・異文化理解	0点	0点

<問4：本学の施設・設備の満足度>

- ・(1) 講義にかかわる施設・設備、(2) 実習にかかわる施設・設備、(3) 研究にかかわる施設・設備、(4) 学生生活にかかわる施設・設備の区分で調査した。

・全ての区分において「どちらかと言えば満足」が約50%となっている。

- ・(2)・(3)については「満足」の割合が25%を超えているが、(4)については20%以下であり、特に(1)・(4)については「どちらかと言えば不満足」「不満足」の割合が計30%を超え高い。

・回答区分に配点した比較

「満足」・・・2点、「どちらかと言えば満足」・・・1点、

「どちらかと言えば不満足」・・・-1点、「不満足」・・・-2点 として算定

※他の調査で使用するため、合計点を回答数で割った点数を算定しておく。0.8点以上を赤で記載。

(2) 実習にかかわる施設・設備	264点	0.98点
(3) 研究にかかわる施設設備	225点	0.83点
(1) 講義にかかわる施設・設備	142点	0.53点
(4) 学生生活にかかわる施設・設備	105点	0.39点

<問5：本学での学生生活の経験>

- ・(1) 入学前と比べて大学での学生生活によって自分が良い方向に変わったと思いますか。(2) 大学での経験が仕事に役立つと思いますか。(3) 大学での経験が仕事以外の社会生活に役に立つと思いますか。の区分で調査した。

・全ての区分において「どちらかと言えば、はい」が50%を超えている。また、「はい」の割合が25%を超えている。

- ・(3)については「どちらかと言えば、いいえ」「いいえ」の割合が計20%を超え高い。

・回答区分に配点した比較

「はい」・・・2点、「どちらかと言えば、はい」・・・1点、

「どちらかと言えば、いいえ」・・・1点、「いいえ」・・・2点として算定

※他の調査で使用するため、合計点を回答数で割った点数を算定しておく。0.8点以上を赤で記載。

(2) 大学での経験が仕事に役立つと思いますか。	274点	1.01点
(1) 入学前と比べて大学での学生生活によって、自分が良い方向に変わったと思いますか。	235点	0.87点
(3) 大学での経験が仕事以外の社会生活に役に立つと思いますか。	210点	0.78点

<問6：実社会において必要と考える能力>

- ・上位5つの回答は、コミュニケーション能力・・・247、問題発見・解決能力・・・176、チームワーク・・・135、倫理観・・・130、専門知識・技能・・・130となった。
- ・下位5つの回答は、企画力・計画力・・・35、語学力・国際感覚・・・22、情報リテラシー・・・19、文章表現力・・・18、社会問題の理解・・・18となった。

<問7－(1)：今後充実させて欲しい教育分野>

- ・上位5つの回答は、薬学専門教育・・・154、医療薬学教育・・・140、語学教育・・・101、基礎教育・ヒューマニズム教育・・・99、実務科目・・・99となった。
- ・下位2つの回答は、卒業研究・・・23、実習科目・・・21となった。

<問7－(2)：今後充実させて欲しい教育内容>

- ・上位4つの回答は、不得意科目の学習支援・・・134、コミュニケーション教育・・・123、初年次教育・・・108、多職種連携教育・・・108となった。
- ・下位2つの回答は、アクティブラーニング・・・98、ICTを利用した教育・・・14となった。

<問7－(3)：今後充実させて欲しい施設>

- ・上位4つの回答は、食堂・コンビニ・・・214、自習室・・・125、学生ラウンジ・・・125、講義室・・・120となった。
- ・下位5つの回答は、研究室・・・35、図書館・・・31、研究機器・・・31、教育機器・・・14、実習室・・・11となった。

<問7－(4)：学生生活を通じて人間形成のために大学が何に力を入れることが望ましいか>

- ・上位5つの回答は、インターンシップ・・・125、キャリア教育・・・120、クラブ活動の支援・・・105、海外留学の支援・・・105、研究室での活動・・・105となった。
- ・下位3つの回答は、地域貢献活動の支援・・・31、ボランティア活動の支援・・・26、アドバイザー制度・・・20となった。

<問8：生涯学習に関して本学に期待すること>

- ・全項目について求めが高く、上位4つの回答は、公開教育講座（実技講習会）の充実・・・107、通信講座・・・106、学会発表・論文作成の支援・・・105、公開教育講座（講演会）の充実・・・100となった。
- ・下位2つの回答は、シリーズ研修会の実施・・・83、社会人大学院の充実・・・76となった。